

地球は宝物でいっぱい

静岡市内小学校

藤本さん

かんきょうを良くするにはどうしたら良いだろう。何か新しいことを始める事が必要なのかな、それとも何かをやめる事が必要なのかな。

そんな風に思いながら私は、藤枝市瀬戸谷でじゅんかんがた農業をしている農家の手伝いに行った。ここでは無農薬でお米を作り、田んぼにはアイガモが放されていた。アイガモは田んぼに生えるざっ草や害虫をエサにして元気にスイスイ泳いでいた。農家がいやがるざっ草や害虫も、アイガモのごちそうだ。農家がかっているニワトリは広い小屋を自由に走り回り楽しそうにくらしていた。ニワトリのエサは、周りの農家から出た野菜のくずゴミや私がぬいた道ばたのざっ草、不ぞろいないねなどだった。ゴミがゴミではなくなりニワトリの大切なごちそうになっていた。そのためごはんを食べると、なんだかたくさんの自然がまざった味がした。

その時私は気付いた。かんきょうを良くするには、新しい事を始めるのではなく、「今ある物を使って、新しい何かへとじゅんかんさせ

る事」が大切だという事に。私たちがゴミと思っている物でも、きちんとじゅんかんさせれば、それはだれかの宝物になる。私たち人間がこの地球上の物を上手にじゅんかんさせれば、もっとこの宝物は増えるかもしれない。

私が大人になったら、じゅんかんシステムを考えて自然と人間をむすびつける人になりたい。そのためには、まだまだこの地球上のたくさんのお話を知らなくてはいけない。学校の勉強もがんばろう！図書館でたくさん本を読もう！そしてまた農家の手伝いに行こう！きっとこの地球はたくさんのお宝物でいっぱいだ。